

郡上市

市民協働センター

2015 まちづくりフェスティバル

☆協働の未来☆夢見る郡上☆

～子ども達の夢と未来に向けたまちづくり～



2015年（平成27年度）

情報誌 第11号 10月号

今年で7回目を迎える「郡上市まちづくりフェスティバル」が11月28日に開催されます。市民参加・市民協働によるまちづくりの取り組みを進めようと毎年開催されています。

第4回からは協働センターが運営主体となり、市民提案型・参加型のイベント、「まちづくりプロジェクト」を実施してきました。

昨年からは未来の郡上をテーマに、「Good 郡上プロジェクト」として中高生の子ども達からの課題解決型の提案を募集し、魅力的ないくつかの提案を当日子ども達自身に発表してもらうという提案型イベントとなっています。



昨年表彰された提案の中からは、市民や企業の協力により具体的な実現につながった事例についての成果報告も行います。

また当日は、がんばっている市民活動や地域活動団体の紹介も行います。

「子ども達の未来のパートナー」として、提案アイデアへの助言や実現へ向けた協力をしていただくことが、郡上市の未来を育て、可能性の広げることにつながるものと考えます。皆様のご参加ご協力をお願いします。

開催日時・会場

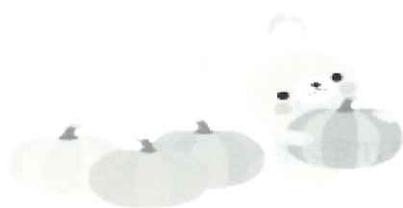
平成27年11月28日(土)

午後1時30分開始

郡上市文化センター多目的ホール

☆イベント内容☆

- ・協働センターの活動紹介
(郡上みらい会議・夢づくりまちづくりプロモーション事業)
- ・昨年の表彰プロジェクト成果発表
- ・市民活動団体・地域づくり団体の紹介
- ・Good 郡上プロジェクト発表・表彰
- ・協働ワークショップ
(参加者から表彰提案への助言・ご提案を頂きます)
- ・会場内での活動団体パネル展示(市民活動団体・地域団体)



郡上みらい会議とは・・・

郡上市が来年度からの10年に向け、第2次総合計画を策定するにあたり、より広く市民の意見を反映した計画にしたいという方針から、この会議を「総合戦略市民会議」と位置づけ、昨年末からテーマごとの市民会議を開催してきました。今年度から、協働センターが市から事業運営を受託して実施しています。

全10回のみらい会議のうち、今年度実施された第5回～第6回分の取組み概要をお伝えします。

第5回みらい会議 テーマ「10年先の郡上をデザインする」

10年後の地域がどうなっているのか？郡上で生き生き幸せに暮らしていくために必要な地域の未来図をみんなで話し合い、描いてゆこうという主旨で開催。

設問1. この10年の地域ブランド・地域デザインはどこまで達成できたのか？(抜粋)

- (一歩前に進んだ) 協働センターができ、住民自治基本条例ができた。移住交流が進んだ。
(もう一息) 人口問題についてまだまだ市民の認識が至っていない。移住交流の取り組み。
(悪くなったこと) 働く場所が十分ではない。市外に出た子供が戻ってこない。
(総括的意見) 人口減少や少子高齢化により様々な問題が出てきた10年であった。
一方で郡上市としての新たな取り組みが始まった10年でもあった。
まちづくりに対する温度差をいかに解決していくかが課題。

設問2. これからの10年をデザイン(計画)するのに必要なものは何でしょうか？(抜粋)

- ・働く場所として、テレワークなどの新たなワークスタイルの確立。
- ・田畑で仕事しながら自給生活の暮らしを都市にアピールする。
- ・市外、都市部との連携やつながりなど、地域を越えた情報共有。
- ・できないことはきりが無い。出来ていることにフォーカス(集中)する。
- ・やりたいこと、実現したい未来を描き、そのために何をするかを考える。(→企業的感觉)
- ・有識者会議を有意識者会議にする。行政・市民・企業が協働で取り組んでいく。



第6回みらい会議 テーマ「仕事と働き方の未来図」

郡上の未来で最も心配な仕事の問題。いくら郡上が良くても、仕事が無ければ暮し続けられない。今回は、(有)KEIZ・Takara Gallery workroomの上村 大輔さんに事例発表をしていただきました。

設問1. 将来的に見て、郡上で今後どんな仕事の領域が成長・発展可能と考えますか？(抜粋)

- (観光について) ・プロの盆踊り師・郡上踊り世界ツアー
・ウインターツーリズムをもっと海外にアピール
・外国人専用のまちやゲストハウス(宿泊施設)
・なくなったレトロな町並み商店の復活(劇場・駄菓子・銭湯)
- (農林水産) ・家庭菜園の生産流通代行業・観光農園
・マルシェ ・農林水産業の六次産業化
・小水力発電 ・太陽光発電・木質バイオマス燃料
- (食と癒し) ・リラックス産業 リラックスしながら仕事ができる環境
・都会者向けメンタルヘルス事業
- (福祉産業) ・高齢者用運転代行を特区で ・医療とスポーツをあわせた健康産業
・シルバー世代が楽しめる商店街(プラチナストリート)
- (情報発信) ・郡上全体をマネジメントする仕事 PRなどを組織的におこなう
・田舎暮らしコーディネーター ・ストレスフリーの田舎でITビジネス

2015地域づくり講演会

6月14日、「2015 地域づくり講演会」として、島根県雲南市で進められている、小規模多機能自治の取り組みについて、市職員 藤本万葉さんにお話を頂きました。

雲南市は、平成16年に6町村で合併し誕生した市で、7町村で合併した郡上市と人口的にもほぼ同じ規模の中山間の自治体です。

また、高齢化率が約33%と高く、日本の平均水準を20~25年先行していて、人口減少と少子高齢化によって、地域社会崩壊の危機が予想されていました。



そこで市は、まちづくりの基本姿勢として、市民が主体的に関わる「協働のまちづくり」=住民自治によるまちづくりを位置づけ、平成17年度から新たな地縁モデルの結成をしました。(地域自主組織の設立) その組織は、小規模多機能自治と呼ばれています。

地域自主組織のポイント

- 自らの地域は自ら治める！(住民自治)
- “地縁”でつながる様々な人、組織、団体が連携し、相乗効果を発揮！(地域の総力)
 - ...子どもから高齢者まで、性別に関わらず。
 - ...単自治会だけでは解決が困難なことを解決！
- イベント型から課題解決型へ！
 - ※イベントにも、何らかの目的があるはず
- 地域力(個性)を活かすこと！



18



平成22年度からは、活動拠点も公民館から交流センターへ移行し、より幅広い市民活動(地域づくり、地域福祉、生涯活動を横断する)を役所の所管課と連携して進めるために、新たに地域づくり担当職員を配置し進めている。

25年度~制度改善による活動基盤の強化

- ・ 交流センター職員と地域自主組織の一体化
 - 地域自主組織による直接雇用
- ・ 地域福祉の見直し
 - 福祉推進員を社協による委嘱から地域自主組織会長の指揮命令系統へ
 - 地域自主組織の福祉部門を地区社協とみなす。

地域の窓口一本化へ

- ・ 今後の地域への協議・連絡ルート 地域自主組織連絡協議会⇔各地域自主組織⇔各自治会 (地域自主組織連絡協議会…各地域自主組織の代表者と行政の代表者による会議)
- ・ 地域と行政の協議の場
 - 地域と「直接的・横断的・分野別で」協議→円卓会議方式を導入

雲南市のこれから 新しい公共の創出

市民と行政がパートナーに(垂直的關係から水平關係に) →協働のまちづくり
小規模多機能自治の進展→開かれた公共へ

地域自主組織の概要

- ・ 小学校区域(顔の見える範囲)で編成し、地域課題を自ら解決
- ・ 1人1票制に近づける(自治会は1世帯1票制)
- ・ 様々な事務局の機能を兼ねることで、地域活動の6次産業化
- ・ いろいろな組織や団体の長所を活かし、補完し合う。



『郡上を知ろう』

～郡上ケーブルテレビ番組企画～

“郡上の人をもっと郡上を知る”番組、『郡上を知ろう』の放送が始まります！！

昨年度より放送されてきました「郡上で生テレビ」は終了し、10月からは、録画放送も取り入れ、放送回数を増やし、今、郡上でがんばっている地域や市民・市民団体の活動をより幅広く、より多くの方々にお伝えしていきます。

放送は、コミュニティチャンネル（デジタル 12ch）

毎週金曜日 昼 14:00～15:00 夜 20:30～21:30

毎月第2、第4金曜日（昼または夜）更新。他再放送。

番組予告

第1回「郡上八幡を歩こう part 1」放送日10月9日、16日（金）

第2回「戸隠神社大祭（九頭の宮祭り）」放送日10月23日、30日、11月6日（金）

また、番組内の「元気人」コーナーでは、“元気に頑張る郡上人”をテーマに、郡上各地の元気人にインタビュー！さらに、次の元気人を紹介してもらいます。皆さんの身近な方が登場するかもしれませんよ～。郡上に暮らす私たち一人ひとりが、もっと郡上の魅力を知り、愛着をもってまわりの人や市外にいる知人にも自慢する、そんな郡上の魅力発信のきっかけになればと思います。

新規採用職員紹介

6月より「夢づくりまちづくりプロモーション事業」の担当として新しく市民協働センターのスタッフになりました佐藤里奈です。上記のケーブルテレビ事業とともに、郡上各地の行事やイベント情報の登録・発信をする郡上カレンダーシステム（仮称）事業を進めていきます。今後、皆さまのところを訪れ、お世話になることが多々あると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

郡上各地を訪れ、たくさんの方との出会いを大切に、郡上の魅力発信をしていけるよう頑張ります。いつもありがとうございます！



編集後記

市民協働センターの設立から5年の月日が経ちます。公民館の代表として運営委員会に参加していますが、最初はセンターの理念やら活動内容の見当もつかず運営委員として務まるか考え、戸惑いもありました。

しかし、回を重ねるうちに少しずつ見えてきました。それは、市民の力と行政をつないで、思いや夢を実現させ、色々な課題を解決することです。その思いや夢は「さあ会議で」と言ってもなかなか浮かんできません。出てきません。皆さんが日頃それぞれの集まりや、一杯飲んだ時の何気ない会話の中から生まれてきます。

「あんなことをしてみたい こんなことができたら面白い どうしたら解決できるのだろうか。」しかしその実現の方法が見つからなくて、二の足を踏んでしまいがちです。その場限りのことで済んでしまいます。そんな時は協働センターを思い出し、足を運んでみてください。夢の実現に向けた方法や行政との橋渡しなど、相談に乗ってくれます。

私たちの周りには、同じような思いや夢を持っている人がいます。そして思いや夢を行動に移し実現した人がいます。思いや夢で終わらないで、まずは一歩を踏み出してみませんか。

運営委員 雫野 洋一

郡上市 市民協働センター

TEL 0575-88-2217

FAX 0575-88-2218

E-mail kyodo-c@gujo-tv.ne.jp

〒501-4607 郡上市大和町徳永 585 番地

郡上市役所 大和庁舎 1階

業務日時：月曜日～金曜日 8:30～17:15

（土・日・祝祭日・12/29～1/3をのぞく）

※事前にご予約いただければ、平日は20:00まで

土・日曜日は10:00～17:00まで対応可能です。

